

寺報

No.583

平成28年3月

蓮華寺
發行

御聖訓

釈迦しゃか佛ぶつを捨すて奉たてまつるは、影かげを敬うやまつて體たいを蔑あなぶる。子こに向むかつて親おやを罵のるが如し。

『諫曉八幡鈔』



(解説)

『日蓮宗』とは一線を画する『日蓮正宗』一門や、また正宗から破門された『創価学会』『顕正会』などでは、もはやお釈迦様は拜む必要のない仏様だと教えています。

彼等は「釈迦は今から二千年も前の時代の仏であつて、現代を救う力はないのである。

そして今、この末法の時代に我々を救つてくれるのは唯ひとり日蓮大聖人であり、大聖人こそが本仏なのだから、他国の仏、過去の仏である釈迦はもう無縁の仏なのである。」というこじつけた教えを説くのです。

しかし、実際、日蓮大聖人は我々に有り難い【法華経】を説き顯してくれました、恩ありますお釈迦様を捨てるなどという事は、まさに本末転倒な事であるとお言葉を残しています。

どうして、彼等はこのように日蓮大聖人の教えから逸脱した妄論を唱えるのでしょうか。

どうか、皆様は彼等に惑わされる事なく、正しい判断の元、法華経・お題目を唱えていきましょ。

『春彼岸会』『星祭』

十七日(木)・二十日(日)・二十三日(水)

水 行・・・昼十二時半

大本堂前

法 要・・・午後一時

大本堂

法 話・・・約十分間

番 当 話 法

十七日	加藤上人
二十日	對馬上人
二十三日	住職上人



②『春彼岸会』と『星祭』の法要は三日間ですが、先祖供養は、残り四日間『朝のお勤め』の中で読み上げさせて戴きますので、ご安心下さい。
 なお、合わせて星(劍守札)もご祈祷します。

法要次第

- 一、勸請(導師が唱えます)
- 一、開經偈(無上甚深微妙の)
- 一、お経(漢字読み)

〔序品第一〜方便品第二〜如来寿量品第十六
 【自我偈】〜如来神力品第二十一〜觀世音菩薩普門品第二十五〜咒陀羅〕

- 一、御祈祷(法樂加持)
- 一、御妙判(如説修行鈔)
- 一、お題目(南無妙法蓮華經)
- 一、宝塔偈(此經難持)
- 一、星祭祈願(導師が唱えます)
- 一、お経(自我偈・漢字読み)
- 一、お題目(南無妙法蓮華經・僧侶は供養の読上)
- 一、彼岸回向(導師が唱えます)
- 一、四誓(衆生無辺誓願度)
- 一、お題目三唱

【法 話・・・約十分間】

②ご祈祷のお経は速く読みますので、ご了承下さい。

以上

お寺からのお知らせ

*先祖供養(一週間)・・・八百円

お彼岸の先祖供養は、お彼岸前に申し込みますと、一週間、またその後申し込んだものでも、「彼岸明け」まで供養を続けさせて戴きます。
 どうか、ご供養は出来るだけ、お彼岸前日迄にお申し込み下さい。

*追 膳(一週間)・・・三千五百円

お彼岸の追膳は『位牌堂』、三階『永代供養堂』、また、お預かりの『お骨』に一週間上がります。
 「彼岸入り」以降のお申し込みも受け付けますが、期間中、一日だけという(特定の日)の受付はしておりませんので、ご了承下さい。

また、追膳は数に限りがありますので、お早目にお申し込み下さい。

*劍守札(星)【一体・二百円】

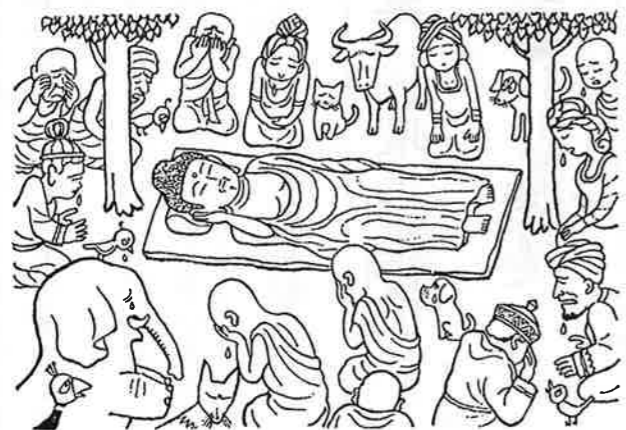
②星(劍守札)のお申し込みは、専用の申込書にお名前と性別・生年月日をお書きの上、お早目にお申し込み下さい。なお、宗派は問いません。

三月十三日(日)

午後一時より

場所・・・大本堂

えはんねんそんしゃく 会 祭 涅槃尊秋



*お釈迦様の祥月ご命日の日です。

*十三日のお勤めの中で、一緒に執り行います。

*お供物もお受けします。

「星」(劍守札)を 申し込みましょう!

当山では『星祭』の期間中、一週間、皆様のご家族のお名前と性別・数え年を記入しました「星」(劍守札)をお祀りして、その年の善星が皆来し、悪星が退散し、一年間無事安泰でありますようにと祈願します。

その為に、大荒行・壹百日間の修行を終えました僧侶が、十七日の彼岸の入り・二十日の中日・二十三日の彼岸明けの三日間、水行をし心身を清めてから、ご祈祷をします。

「星」はいわゆる「日曜星く土曜星」の七曜星に、太陽と月をさえぎる「羅喉星」、彗星である「計都星」を加えました「九曜星」を、皆様の年令と性別によって配当していきます。

それで、我々はその年の自分の運勢を知り、これを元に行動し、更に法華経・お題目の信仰を持つ事によって、より一層安心した人生を送れるのです。

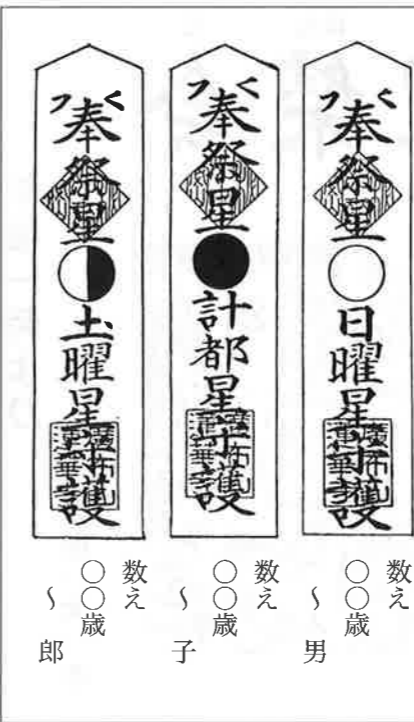
どうか、檀信徒の皆様は是非とも毎年この「星」(劍守札)をお申し込みになりますようにお願いします。また、新規のお申し込みもよろしく願います。

星(劍守札)のまつり方

お寺より「星」を戴きましたら、そのままに置かないで、必ず厚紙に貼り、各自の数え年と名前を書き、自宅の御寶前か仏壇の下の方にお祀りして、毎朝拜むようにして下さい。

また、昔より仏間のカモイに貼る家庭もあります。とにかく、一年間大事にお祀りする事が大事です。

平成二十八年度星祭



※なお、五枚まで貼れる専用の台紙も、五十円で事務所に販売しております。

大本堂内部改修 浄財のお願い

現在当山では大本堂の内部、特に壁の部分を中心に改修が行われています。

建立されて八十九年の年月を経た建物ですので、内部の壁が多数、破損または剥離してきました。

その為に今般、壁と柱の下地を補修し、塗り替えをしています。

しかし、大本堂は全体の面積が非常に広い為に、工事費もかなりかかってまいります。

どうかその旨をご理解して戴きまして、皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

なお工事中に就き、大本堂に参拝出来ない日もありますので、ご了承下さい。

●総工費：一千四百五十万円

●勧募方法：一口・五千円以上(随時受付中)

●寄付の方の御芳名を本堂内に奉納します。

●工事期間：今月、三月中完成の予定

注)四月二十八日(木)には県内の全僧侶、また檀信徒も参集し、日蓮宗が開かれた記念日に行います『立教開宗会』という大法要が当山で厳修されますのでこれに間に合わせて工事をしております。

☆『位牌壇』の募集!

*お寺に『位牌壇』がありますと、毎朝必ずお題目が唱え続けられていきますので、皆様のご先祖様や仏様が今後代々に渡り守られていきます。

*ご命日の時、旅行や諸用などで不在でも、ご予約戴ければ『位牌壇』の前に追膳をお上げし、またお経もお上げ致します。

*青森では冬期間お墓参りが出来ませんので、『位牌壇』がありますと常にお参りが出来ます。

☆『聖徒団会員』の募集!

毎月ついたちの「盛運祈願会」の中で、住職上人が各会員の『家内安全』をご祈願致します。

その他、大本堂御寶前のお花、皆様にお配りする新聞【聖徒タイムズ】・寺報等の援助などに活用します。

会費：年額二、四〇〇円(月二百円)

☆霊断

檀信徒の皆様で、日頃から何か困り事や悩み事がありましたら、迷わずに蓮華寺までご相談下さい。

日蓮宗に伝わる秘法『九識霊断法』にて当山僧侶が解決、ご指導致します。

なお、宗旨宗派は問いません。 ☎776-5840

【相談料は原則として三千元となります】

三月の行事

- 一 日(火) 盛運祈願会 午後一時より
- ・お守り【霊神符】の交換の日です。
- ・自ら進んでお勤めに参加し、お経を唱えましょう。
- ・聖典(お経本)と数珠は必ずご持参下さい。
- ・蓮華寺檀信徒の方は、必ず【霊神符】をお持ち下さるようお願い致します。



六 日(日) 鬼子母神小祭 朝のお勤め中

十三日(日) 日蓮大聖人ご報恩会 午後一時より

- ・お経 (如来神力品第二十一(訓読・日本語読み) 如来寿量品第十六 (真読・漢字読み))
- ・皆様も日蓮大聖人さまの御報恩を忘れずに参拝し一緒にお経・お題目を唱えましょう。

十三日(日) 釈尊涅槃会 午後一時より

『春彼岸会』・『星祭』【三日間】
十七日(木)・二十日(日)・二十三日(水)

【水行】 昼〇時半より
【法要】 午後一時より

☆奉仕のお知らせ

十五日(火) 星祭の準備 男女共・午前十時より
*星祭の祭壇、水行等の準備

十七日(木) 【彼岸入り】 男女共・午前十時より
二十日(日) 【彼岸中日】 男女共・午前十時より
二十三日(水) 【彼岸明け】 男女共・午前十時より

② 『春彼岸会・星祭』の行事は三日間ですので、ご奉仕とご参拝は日程・時間をお確かめの上、お願いします。
また「水行」のお手伝いは、人手が沢山必要ですので、一日でも多くご奉仕下さい。
特に二十三日(水)は星祭のお札を渡す日ですので是非ともご協力をよろしくお願いします。

☆春彼岸会の追膳

十七日(木)〜二十三日(水)の一週間

『お彼岸の追膳』のお手伝いは従来通り一週間、朝【午前六時〜七時半まで】夕【午後三時〜五時まで】ですので、お手伝い出来ます方は時間までにご集合下さい。

②お寺のお手伝いご希望の方は、教宣部員以外でも歓迎しますので、どうぞ時間までご集合下さい。

- ◎奉仕部長 山田兼補
- ◎伝道部長 小野正春
- ◎教宣部長 杉淵昌三

☆『永代供養塔』のご供養

境内に安置しています『永代供養塔』『水子観音像』『動物供養塔』の(春彼岸供養)は、三月二十日(日)の午前十時三十分より、住職上人がご回向しますので、一緒に参拝出来る方は、時間までにお越し下さい。

「寒修行」終了す

本年、一月六日から二月二日までの二十八日間に渡り行われました「寒修行」は、皆様のご協力により無事終了する事が出来ました。

今年は予報に反し大雪となり、寒さも非常に厳しく、参拝者には正に寒中の修行で大変だったようですが、それでも皆さんが頑張つて参加してくれました。本来、修行とは誰の為でもなく、自分の為に行うものですが、その皆様の一心に修行しているお姿は、正に異体同心、ご本仏様と一体となった仏様のお姿そのものでした。

どうか来年度からは、いまだ参加した事のない方々も「寒修行」に参加してみてください。

まず、何よりも実行してみる事が大切です。なお、今般も法務ご多忙の中、導師を勤めてくれました住職・加藤・対馬・埴・加藤曉宏の各上人に於かれましては、誠に有り難うございました。また、参加された皆様も、どうもご修行ご苦勞様でした。

はる ひ がん え 『春彼岸会』 ほし 『星 まつり 祭』

三月

十七日 (木)・二十日 (日)・
二十三日 (水) の三日間

水 行・・・昼十二時半より 大本堂前



妙見菩薩

法 要・・・午後一時より 大本堂
法 話・・・約十分間 法要終了後
(先祖供養、追膳、星【剣守札】は受付中)

* 『水行・法要』は彼岸の入り・中日・明けの三日間で
すので、檀信徒の皆様もご注意の上ご参拝下さい。

* 供養・祈願の残り四日分は「朝のお勤め」で拝みます。